

臨床研究に関する情報公開(研究要旨)

太田西ノ内病院では、下記の研究を実施しております。

番号	8
研究課題名	カテーテルアブレーション治療周術期および術後における経口Xa阻害薬リバーロキサバンの有効性および安全性評価のための後ろ向き観察研究
研究責任者 <small>(試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称)</small>	循環器センター センター長 武田寛人
共同研究者 <small>(利用する者の範囲)</small>	
研究目的 <small>(試料・情報の利用目的及び利用方法)</small>	非弁膜症性心房細動患者におけるカテーテルアブレーション治療周術期および術後の経口Xa阻害薬リバーロキサバンの有効性と安全性を、カテーテルアブレーション治療実施後遠隔期までの後ろ向き観察研究によって検討・評価する
他の研究機関への情報提供の有無、及び提供方法	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
研究実施期間	2018/08/24～2019/01/31
研究対象者及び対象期間	●カテーテルアブレーション治療が予定され治療実施前3週間以上経口Xa阻害薬リバーロキサバンが投与されている非弁膜症性心房細動患者
利用する情報 <small>(利用し、または提供する試料・情報の項目)</small>	●カテーテルアブレーション治療実施1カ月以降遠隔期の抗凝固療法の成績・経過情報
研究の資金源 <small>(利益相反)</small>	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
備考	